

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-04-01		
施設名	荒川遊園				
所在地	西尾久六丁目35番11号				
部署名	子育て支援部荒川遊園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年 5,052,575	—	—	—
	増改築①	平成6年 2,913,788	—	—	—
増改築②	—	—	—	—	—
併設施設	—				
竣工年月日	—	—	常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	—	職員数	8人		委託業者
構造	—	階層	—		
面積	敷地面積	54,319			m <sup>2</sup>
	延床面積	—			m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	都内唯一の区立遊園地として、多くの利用者によりゆとりと安全安心に楽しんで頂く施設として開園した。				
関連部署	—				
根拠法令等 設置条例	都市公園法、荒川区立公園条例及び同条例施行規則				
駐車場の状況	114台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約100台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	総面積54,319m <sup>2</sup> (A地区(有料地区):31,466m <sup>2</sup> 、B地区(プール):5,234m <sup>2</sup> 、C地区(地下駐車場):14,141m <sup>2</sup> 、D地区(荒川遊園拡張地):3,479m <sup>2</sup> ) 【事業内容】①遊園地の管理運営(遊戯施設、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店(2か所)ほか)②子どもプールの管理運営③都市公園維持管理等					
対象者	—					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時(学校の長期休業期間及びGWの日曜、祝日は午後6時まで)				
	休日	火曜日(火曜日が祝日の場合にはその翌日)				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	入園者数(人)	391,201	404,002	417,549	313,266	—
	子どもプール(人)	25,730	23,930	21,069	25,015	25,000
	地下駐車場(台)	34,976	33,221	33,155	28,962	17,000
	釣堀利用者数(人)	40,438	43,000	42,806	32,221	—
	大型遊戯施設利用者数	989,055	1,035,174	1,068,948	720,046	—
	入園料収入(千円)	39,043	38,664	39,311	28,370	—
	乗物券、小型遊具等収入(千円)	160,814	167,717	174,801	119,470	650
子どもプール収入(千円)	6,062	5,665	4,995	5,968	6,000	
地下駐車場収入(千円)	24,375	23,122	23,152	18,952	7,200	
指定管理に係る費用	—					
備考	お客様サービスの向上や新規イベントの実施など地道な取り組みにより、平成25年度以降、入園者数が継続して増加している。令和3年夏のリニューアルオープンに向け、平成30年12月から休園し、改修工事を進めている。					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	H29年度	H30年度	差額	H29年度		H30年度	差額		
行政コスト計算書	給与関係費	53,485	59,668	▲ 6,183	地方税等	0	0	0	
	物件費	255,911	220,162	▲ 35,749	国庫支出金	0	558	558	
	維持補修費	50,747	21,340	▲ 29,407	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,328	1,711	▲ 617	使用料及び手数料	269,078	191,617	▲ 77,461	
	減価償却費	90,730	89,136	▲ 1,594	その他	12,953	8,802	▲ 4,151	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	282,031	200,977	▲ 81,054	
	賞与・退職給与引当金繰入額	16,459	2,402	▲ 14,057	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 217,600	▲ 322,878	▲ 105,278	
	その他行政費用	29,971	129,436	99,465	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	499,631	523,855	24,224	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 217,600	▲ 322,878	▲ 105,278	
	特別費用(g)	1,825	2,411	586	特別収入(f)	0	1,986	1,986	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 1,825	▲ 425	1,400	当期収支差額(e)+(h)	▲ 219,425	▲ 323,303	▲ 103,878		
貸借対照表	勘定科目				勘定科目				
	H29年度	H30年度	差額	H29年度	H30年度	差額			
	流動資産	0	0	0	流動負債	2,162	2,402	240	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	4,572,006	4,499,772	▲ 72,234	賞与引当金	2,162	2,402	240	
	土地	3,474,010	3,492,523	18,513	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	3,368,212	3,307,324	▲ 60,888	固定負債	37,466	23,055	▲ 14,411	
	建物減価償却累計額	▲ 2,279,755	▲ 2,308,826	▲ 29,071	特別区債	0	0	0	
	工作物等	1,600,466	1,600,466	0	退職給与引当金	37,466	23,055	▲ 14,411	
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,590,927	▲ 1,591,715	▲ 788	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	39,628	25,457	▲ 14,171		
建設仮勘定	0	483,292	483,292	正味財産	4,533,177	4,957,607	424,430		
その他の固定資産	799	0	▲ 799	正味財産の部合計	4,533,177	4,957,607	424,430		
資産の部合計	4,572,805	4,983,064	410,259	負債及び正味財産の部合計	4,572,805	4,983,064	410,259		
備考	物件費が全体の約40%を占め、遊戯施設等管理運営業務65,354千円、動物飼育29,575千円、地下駐車場運営17,515千円、子どもプール運営6,156千円などが含まれる。リニューアル関連として大型遊戯施設設置工事費、敷地造成工事費、設計及び調査費等483,292千円は完成までは建設仮勘定として計上されている。								

指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	76	78	79.5	
施設1㎡当たりのコスト(円)	-	9,177	9,835	10,304	
来園者1人当たりのコスト(円)	-	1,155	1,198	1,672	
開園1日当たりコスト(円)	-	1,462,530	1,567,492	1,642,179	
受益者負担比率(%)	-	56	54	36.6	
財務指標・評価指標等					
備考	H30年度は年度途中(12月)から休園して改修工事を開始したため、前年度に比べて使用料収入及び受益者負担比率が減少したほか、改修工事費の支出にともない、来園者1人当たりのコストが増加した。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	年間利用者数	380,291	391,201	404,002	420,000	313,266
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	小さな子ども連れの子育て世代を中心に、ゆっくりと安心して楽しむことのできる施設としてニーズが高い。					
現状・課題	<p>○子育て支援施設及び観光振興施設として、子ども連れの家族を中心に、区内外から多くの利用者が訪れ、地域の方々からも長年親しまれている施設であり、リニューアルについての関心度も高い。</p> <p>○休園期間中、荒川遊園の知名度を維持していくとともに、リニューアルに向けた期待感を醸成していく取組が必要である。</p> <p>○リニューアルオープンに向け、開園時間の延長について検討していく必要がある。</p> <p>○安全安心の運営により重大事故ゼロを継続していくため、更なる安全管理体制の強化を図る必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○休園期間中においても、アリスの広場でのイベントや子どもプールにおける小型遊具の運営等を行うことで誘客を促進するとともに、ホームページ等により進捗状況を情報発信することで、リニューアルへの期待感を醸成する。</p> <p>○リニューアルオープン後の開園時間延長時間や時期について、利用者の動向等を踏まえ、検討していく。</p> <p>○荒川遊園見守り隊及び安全管理委員会を中心とした安全管理をさらに推進、徹底していく。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度予算特別委員会 ○改修期間中の閉園区域○一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用○植栽、花のコンテナの全面的な見直し○イルミネーション設置○夜間営業に向けた営業時間の見直し○リニューアルに合わせた入園料の見直し⑦来園者を遊園周辺へ回遊させるべき方策等○旧小台橋小跡地の遊園拡張用地の活用(子育て支援の森に)					

